

## 熊本県の地産地消の推進に関する施策の報告

### 平成29年度の実績

#### (1) 県民の県内農林水産物等への理解の深化及び郷土愛の育成

郷土料理の伝承、「食育」及び「木育」に係る活動、各種広報を活用した県内農林水産物等に係る情報提供等を行い、県内農林水産物等に対する理解を深め、郷土愛を育む。

番号	事業又は取組名	平成29年度予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当課
1	<b>くまもと地産地消利活用促進事業のうち「地産地消協力店活動支援事業」</b>	1,000
	2017くまもと農業フェア「くまもと地産地消スイーツマルシェ」において地産地消店によるスイーツ販売を実施した。 (実績)フェア参加店:11社	農林水産部 流通アグリビジネス課
2	<b>くまもと地産地消利活用促進事業のうち「地産地消サイト運営」</b>	1,976
	地産地消協力店に関する情報や、くまもと食・農ネットワーク運営委員によるリレーコラム、食の名人の料理レシピやイベント情報などの掲載の他、メールマガジンの配信(月2回)等で情報提供を実施した。 (実績)サイトアクセス回数:355,040件(H29.4~H30.3)	農林水産部 流通アグリビジネス課
3	<b>くまもと地産地消利活用促進事業のうち「地産地消交流会・フォーラム」</b>	1,000
	生産者から消費者まで地産地消の関係者を対象とした交流会「2018春地産地消のつどい」を開催した。地産地消による商品作りに取り組む県内の食品事業者による講演や事例発表、商品の試食を行った。 (実績)参加者:76名	農林水産部 流通アグリビジネス課
4	<b>卸売市場整備活性化事業のうち「拠点卸売市場活力アップ事業」</b>	1,000
	地域拠点市場として、生鮮食料品等の供給体制の充実・強化を図るため、市場整備のあり方を含めた調査・研修会等を開催し、関係者の機運醸成を図った。また、市場を地産地消の拠点施設として位置付け、県産青果物等の料理教室や広報活動を行い、認知度アップと消費拡大を図った。 (実績)調査:4回、研修会:1回、料理教室:10回、広報活動:6回	農林水産部 流通アグリビジネス課
5	<b>農林水産業・地域の振興推進事業のうち「くまもと農業フェア負担金」</b>	1,964
	農業フェアの場を活用し、県民に本県の農畜産物を広くPRするとともに、「食の安全・安心」、「農業の多面的機能」等について理解を促進した。 (実績)開催日:平成29年11月18日~19日、場所:熊本県農業公園「カントリーパーク」、参加者数:30,000人(2日間計)	農林水産部 農林水産政策課

	<b>くまもとの米・麦・大豆魅力発信・競争力強化事業</b>	1,542
6	「くまもとのお米の本」を作成し、県内小学校等へ配布した。また、小・中学校及び高校生を対象に県産の米・麦・大豆をテーマとした料理講習会等を開催した。その他、「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの後援を実施した。 (実績)「くまもとのお米の本」配布:183校(11,500部)、小・中学生料理講習会:14校開催、高校生料理講習会:18校開催	農林水産部 農産園芸課
	<b>ふるさとの食継承・活用推進事業のうち「食文化継承事業、郷土料理普及推進事業」</b>	3,413
7	「くまもとふるさと食の名人」の認定を進めるとともに、「農山漁村“食の技”フォーラム」を開催し、ふるさと食の普及とビジネス化に向けて関係企業・団体等との連携を図った。また、「くまもとの食の技」映像記録(Vol.2)を制作・配布し、食育教材としての活用を図った。 (実績)フォーラム参加者:180名、映像記録配布:100部、食の名人新規認定者:16名・活動者総数:315名。	農林水産部 むらづくり課
	<b>特用林産物流通促進事業</b>	3,181
8	山村地域の重要な換金作目である特用林産物の生産技術向上、流通・販売促進、普及啓発を目的としたイベントを開催した。 (実績)「2017 くまもと しいたけ祭り」5月26日開催、来場者:2,200名、「竹の日フェスタ2017 in 上通」(7月1~2日開催)等	農林水産部 林業振興課
	<b>県産材需要拡大消費者対策事業のうち「くまもと県産材総合PR事業」</b>	878
9	前年に引き続きマスメディアを使ったPR事業を行った。 (実績)木材関係事業者が組織する団体が主体的に実施する活動のうち、「熊本日日新聞(朝刊)」(計3回掲載)	農林水産部 林業振興課
	<b>県産材需要拡大消費者対策事業のうち「木材利用普及啓発事業」</b>	1,487
10	県下11地域の木材需要拡大協議会による木工教室、森林教室、木製遊具の提供、木材需要拡大を呼びかける一斉行動等、消費者等に向けて地域に密着した木材需要拡大運動を実施した。 (実績)森林・木工教室38回、木製品(遊具等)提供53件 ※平成30年度からはくまもとの木と親しむ環境推進事業に統合し継続実施。	農林水産部 林業振興課

	<b>くまもとの木と親しむ環境推進事業</b>	<b>20,940</b>
11	<p>県産木材で作った木製遊具の貸し出し及び森林の役割や木のよさを伝える紙芝居や絵本の読み聞かせ等、全5事業を実施し、木と親しむ環境の普及啓発に取り組んだ。</p> <p>(実績)①木製遊具貸出等:37団体、ものづくり体験イベント:県内4箇所、②県内の幼稚園・保育園、小中学校等への机・椅子等の木製品の導入に係る補助:24事業体、③小学5年生社会科用副読本、中学技術家庭科用副読本の作成配付:各約18,000人、④社会教育主事等を対象とした「木育インストラクター」研修の実施:3回、⑤木育の取組みを行う市町村等に対する補助:5団体</p>	<p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>
	<b>漁村における「うみ・ひと・しごと」づくり推進事業のうち「地魚マスター活動支援」</b>	<b>84</b>
12	<p>くまもと地魚マスターの活動を活性化させるために、県HPに料理教室などでの活動状況を掲載するとともに、今後の活動の支援に必要なニーズを把握するために現在の活動状況等のアンケート調査を実施した。</p>	<p>農林水産部</p> <p>水産振興課</p>
	<b>ふるさとくまもと応援寄附金推進費のうち「感謝の品贈呈」</b>	<b>33,065の一部</b>
13	<p>「ふるさとくまもと応援寄附金」寄附者の方に県産品を「感謝の品」として贈呈した。</p> <p>(実績)デコポン、メロン、くまもとの馬刺し等20品目を「4,318セット」送付</p>	<p>総務部</p> <p>税務課</p>
	<b>スポーツによる地域活性化事業のうち「ロアツ熊本支援県民運動推進事業」</b>	<b>3,000</b>
14	<p>ロアツ熊本のホームゲーム開催時に、熊本地震により昨年度実施できなかった「火の国もりあげタイ！」の活動地域となる6市町村に焦点を当てた「タウンデー」にて、当該市町村の物産展などを開催した。</p> <p>(実績)計6回開催</p>	<p>企画振興部</p> <p>地域振興課</p>
	<b>「くまもと手仕事ごよみ」推進事業</b>	<b>7,297</b>
15	<p>フェイスブック及びホームページ上で、四季折々の地域の伝統工芸、伝統食、伝統芸能等に関する情報発信を継続して実施し、コラム及び特集記事を掲載した。また、「くまもと手しごと応援！企業」登録制度における登録企業の手仕事品活用事例等を紹介し、手仕事品の普及啓発を行った。</p>	<p>企画振興部</p> <p>文化企画・世界遺産推進課</p>
	<b>天草空港利用者に対する県産品の提供及びパンフレットの配布</b>	<b>(ゼロ予算)</b>
16	<p>天草エアライン機内にて地域の県産品(加工食品を含む)を提供し、地域産業の振興を推進した。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュース類(みかんちゃん:17,568本、でこぼんくん:2,520本)</li> <li>・イルカのたまご(永田製菓):2,550個 など</li> </ul>	<p>企画振興部</p> <p>交通政策課</p>

	<b>子どもの食育推進事業</b>	1,563
17	<p>熊本県内の認定こども園及び地域子育て支援拠点施設において、調理実習、栄養相談、講話等を実施した(熊本県栄養士会に業務委託)。また、食育相談事業報告会を実施し、各地の食育の取組みを共有した。 (実績)調理実習等実施:14箇所</p>	<p>健康福祉部</p> <p>子ども未来課</p>
	<b>健康食生活・食育推進事業における地産地消推進の取組</b>	4,398
18	<p>健康に配慮した食事を提供する「くまもと健康づくり応援店」の取組項目に「地産地消の推進」を掲げ、県産品の利用促進に取り組んだ。 (実績)くまもと健康づくり応援店指定店舗数465店舗のうち、地産地消を推進する店舗数:337店舗(H30.3月末時点)</p>	<p>健康福祉部</p> <p>健康づくり推進課</p>
	<b>「大型店の立地に関するガイドライン」による大型店への協力要請</b>	(ゼロ予算)
19	<p>大規模小売店舗立地法に係る新設の届出のあった大型店に対し、県の意見を通知する際に、ガイドラインで大型店に求める地域貢献策(県産品の販売促進・需要拡大への協力)への取組みを要請した。 (実績)要請実績:3店舗</p>	<p>商工観光労働部</p> <p>商工振興金融課</p>
	<b>観光復興会議具現化事業のうち「熊本の「食」を活用した誘客促進事業」</b>	15,000
20	<p>専用ホームページによる情報発信や、日本を代表するシェフのサポートにより、県内の料理人が地域の素材を活かした「旅のごちそうメニュー」を開発し、提供を行う等の取組みを行い、本県の食の魅力による誘客促進を図った。 (実績)開発メニュー:58メニュー</p>	<p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p>
	<b>庁舎ロビーへの県産品展示</b>	(ゼロ予算)
21	<p>県庁本館1階ロビー受付横の展示ケースに、海苔等の農林水産物や球磨焼酎等の加工食品、天草陶磁器等の伝統工芸品の展示を行い、県産品の魅力をアピールした。</p>	<p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p>
	<b>「がんばろう！熊本」観光復興事業のうち「交通事業者、旅行会社等と連携した誘客促進事業」</b>	41,849の一部
22	<p>「リメンバー九州キャンペーン」(通年)及び、「熊本・大分キャンペーン」(7月～12月)において、パンフレットやTVCMで熊本の「食」を紹介した。</p>	<p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p>
	<b>食育推進事業</b>	270
23	<p>望ましい食習慣の形成を目的とした学校における食育の推進を図る中で、学校給食における「ふるさとくま(熊)さん(産)デー」の取組み及び郷土料理提供等により、地場産物の活用を促進し、身近な地域はもとより県内の自然や食文化、産業についての関心・理解を深めるとともに、郷土を愛する児童生徒の育成を図った。 (実績)ふるさとくま(熊)さん(産)デーを毎月19日を目途に実施</p>	<p>教育庁</p> <p>体育保健課</p>

## (2) 県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大

県内の物産館、直売所及び量販店等における県内農林水産物等の販売促進活動を支援し、県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大を図る。

番号	事業又は取組名	平成29年度予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当課
24	<b>くまもとの未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業のうち「地域産食材活用推進モデル事業」</b>	3,000
	県内の市町村を対象に、県産食材の学校給食への活用を促進するための流通システムづくりを支援した。 (実績) 支援数: 2市1町	農林水産部 流通アグリビジネス課
25	<b>くまもとの未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業のうち「給食用野菜流通モデル実証事業」</b>	2,000
	給食用県産野菜の長期出荷体制モデルの構築に向け、給食で需要の多いタマネギの長期貯蔵試験を実施するとともに、県内の給食施設を対象に、県産野菜を使った乾燥野菜の導入実証を実施した。 (実績) 県内3施設にて、県産乾燥野菜8品目の導入実証を実施	農林水産部 流通アグリビジネス課
26	<b>販促資材等の配布による直売所支援</b>	(ゼロ予算)
	地産地消啓発チラシ等を配布するとともに、地産地消サイトによる情報発信支援等を行った。	農林水産部 流通アグリビジネス課
27	<b>くまもと地産地消利活用促進事業のうち「地産地消に係る流通調査」</b>	2,100
	県民の食生活の変化や、県産農産物等の購買行動、調理などの消費・生活行動の動向を把握するとともに、県内の大手スーパー等における県産農産物等の取り扱い実態と利用拡大に向けた具体的課題を把握するための調査を実施し、今後の地産地消推進の基礎資料とした。	農林水産部 流通アグリビジネス課
28	<b>震災復興！地域食材等販路開拓支援事業のうち「販売向上スキルアップ事業」</b>	2,000
	地震の影響により、来客数や売上額減少等の影響があった直売所等に対し、専門家による来客数や売上額の増加・拡大に向けた支援を行った。 (実績) 支援施設数: 3箇所	農林水産部 流通アグリビジネス課
29	<b>震災復興！地域食材等販路開拓支援事業のうち「販売力アップ連携体制支援事業」</b>	2,700
	震災の影響で来客数が減少した地域への集客につながる都市・農村交流イベントや観光誘致、仮設住宅・高齢者等の買い物難民対策など、地域の直売所等が一丸となって行う集客・売上げアップにつながる取組みを支援した。 (実績) 支援地域数: 6地域	農林水産部 流通アグリビジネス課

30	<p><b>くまもとの米粉総合推進事業のうち「米粉需要開拓対策・米粉食品普及定着推進対策」</b></p> <p>米粉アドバイザーを派遣し、商品開発等のため事業者向けに技術指導を実施した。また、米粉インストラクターを派遣し、消費者向け米粉料理教室を開催。その他、米粉インストラクター研修の実施や、くまもとの米粉HP、FBで県産米粉の情報発信を行った。 (実績)米粉アドバイザー技術指導:6箇所、米粉インストラクター派遣:10箇所、料理教室:2回、米粉インストラクター研修:1回</p>	<p>5,016</p> <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
31	<p><b>県産麦パートナー強化推進事業</b></p> <p>生産者、製造業者、販売業者による生産流通連携体制を構築し、小麦では、高品質ミネカオリを原料としたプレミアム商品の開発や地元産ミネカオリを使った料理のPRを実施した。大麦では、産学官が連携した商品開発や大麦料理のワークショップを行い、県産大麦の需要拡大を図った。</p>	<p>3,080</p> <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
32	<p><b>くまもと茶ビジネス確立支援事業</b></p> <p>広報媒体によるPR及びイベント・キャンペーンの開催を推進するとともに、県外実需者への販促活動に取り組み、県産茶の流通の促進及び消費の拡大を図った。 (実績)イベント出展:3回、キャンペーン:1回、県外実需者への県産茶の販売:約5t</p>	<p>6,948</p> <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
33	<p><b>いぐさ産地総合支援事業</b></p> <p>各種展示会で県産畳表の紹介、PRを実施した。また、県内外の業者等に産地の状況やいぐさの機能性等について周知した。さらに、新品種を含む県奨励品種の育苗配布を実施した。 (実績)パンフレット2,000部作成・配布</p>	<p>11,208</p> <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
34	<p><b>「毎日くだもの200グラム運動」の啓発活動支援</b></p> <p>尚絅大学栄養科学科学生を対象に、くだものセミナーを開催した。また、情報誌「リビング熊本」を活用した県内消費者への啓発を実施した。その他、県内幼稚園・保育園へのみかん・果物(デコポン等14品目)の情報提供を行った。 (実績) ・セミナー参加者:31名 ・みかん・果物の情報提供:県内幼稚園・保育園100園(園児14,180名)</p>	<p>885の一部</p> <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
35	<p><b>一般社団法人熊本県野菜振興協会が実施する産地育成事業</b></p> <p>新技術・新品目等の導入展示を設置し、試作検討を実施した。また、野菜PRを目的とした野菜ソムリエ育成事業により、県内生産者のソムリエ資格取得と育成を実施した。 (実績) ・展示ほ設置:8箇所 ・野菜ソムリエ育成:3回</p>	<p>2,415の一部</p> <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>

	くまもと花っていいよね。キャンペーン活動への支援(花き協会補助事業)	1,604の一部
36	小中学校等を対象とした出張フラワーアレンジメント教室やJ2「ロアッソ熊本」への協賛イベント活動、県内イベントへの出展、フラワーバレンタインキャンペーンの周知活動とイベントを実施した。 (実績)フラワーアレンジメント教室開催:12校	農林水産部 農産園芸課
	くまもとの花生産流通推進事業のうち「新たな需要開拓・情報発信強化事業」	8,388の一部
37	毎月7、8日を「くまもと花の日」とし、情報発信と県産表示を実施した。また、業務需要を開拓するため、ホテルロビー等での県産花きを用いた装飾を実施した。 (実績)「くまもと花の日」の実施(毎月1回)、ホテルロビー等での装飾実績:ホテル1社	農林水産部 農産園芸課
	くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「熊本県産銘柄豚生産流通対策事業」	771
38	HP等を活用した販売情報等の提供、イベントへの出店を行い、消費拡大・認知度向上に取り組んだ。また、生産体制強化検討会を行った。	農林水産部 畜産課
	くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「熊本県産地鶏生産流通対策事業」	1,392
39	販促資材の作成・配布、イベントでのPR活動、県HP等を活用した販売情報等の提供を行った。また、生産体制強化に係る生産者指導、ブランド力向上検討会を行った。	農林水産部 畜産課
	くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「食肉流通体制強化推進事業」	2,100
40	販促資材の作成・配布、イベントへの出展、新聞、フリーペーパー等の媒体を活用した広報活動、HPにおける県産牛肉のPR及び販売店の紹介、牛肉キャンペーンを実施した。 (実績)HPアクセス数:約31,000件、キャンペーン応募総数:約2,200通	農林水産部 畜産課
	くまもとジビエ活用支援事業(うち県単事業)	3,285
41	鳥獣被害防止対策の一環で捕獲したシカ及びイノシシの肉を活用した「くまもとジビエ」への理解促進と消費拡大に係る取り組みを行った。 (実績)実需者との交流会(10月):39名参加、くまもとジビエ料理フェア(1~2月):50店舗参加、ジビエ料理教室の開催(11月):18名参加	農林水産部 むらづくり課
	くまもと県産木造住宅づくり復興推進事業	38,200
42	木造住宅(熊本地震からの再建住宅を含む)を新築する者、事業所など不特定多数の者が訪れる建物を新築又はリフォームする者に県産木材及び県産緑化木を提供することによりその良さを周知啓発し、木材の需要拡大を図った。	農林水産部 林業振興課

	<b>ウッドリノベーション支援事業</b>	<b>2,210</b>
43	県産木材を使用した内装木質化などのリノベーション等を実施するPR効果の高い店舗等に対して、設計費及び木材費(県産木材に限る)を助成した。 (実績)提供店舗数:3棟	農林水産部 林業振興課
	<b>木を活かした景観づくり支援事業</b>	<b>7,265</b>
44	多くの県民が利用し、又は目に触れる公共的空間(観光地や商店街など)に、県産木材を使用した建築物、案内板、標識などの設置又は補修(県産木材を使った補修に限る)をすることにより、実施地域における一定の広がりのある統一景観(町並み、自然、歴史及び文化的空間)の形成を図った。 (実績)実施件数:6件	農林水産部 林業振興課
	<b>漁村における「うみ・ひと・しごと」づくり推進事業のうち「くまもと四季のさかな推進活動」</b>	<b>1,722</b>
45	県産水産物の消費拡大と認知度向上のため、料理レシピサービスのクックパッドで「熊本県水産振興課のキッチン」を開設し、レシピを掲載。また、認知度向上を図るため、PR資材を製作した。 (実績)公開中レシピ:68件、H29.4~H30.3までのアクセス数:73,735件	農林水産部 水産振興課
	<b>水前寺二丁目宿舍畳表替に伴う県産いぐさの利用</b>	<b>1,085の一部</b>
46	平成29年度の水前寺二丁目宿舍の入退舎に伴う畳表替え(28枚)について、県産材イ草を使用するよう仕様書に明記し消費拡大を図った。 (実績)畳表替え:28枚	総務部 財産経営課
	<b>社会福祉施設等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例に基づく地産地消の推進</b>	<b>(ゼロ予算)</b>
47	県内の社会福祉施設等の監査の際に地産地消の実施状況について確認し、未実施の施設等に対しては、地産地消の取組みを積極的に実施するよう助言を行った。	健康福祉部 健康福祉政策課
	<b>県産品販路開拓事業のうち「くまもと物産フェア事業」</b>	<b>900</b>
48	県産品PR活動の強化、販売力・販路拡大の強化、新商品開発支援を行うことにより、県産品の振興を図るため、農・商工団体が連携し、県下最大級の食のイベントとして、H29.11.4~5の2日間、第22回くまもと物産フェアを開催した。 (実績)来場者数:約20,000人	商工観光労働部 観光物産課
	<b>くまもとの酒消費拡大推進事業</b>	<b>5,856の一部</b>
49	熊本地震により、生産施設の多大な被害に加え、販路を失った県内酒造関係者を支援するため、大都市での販売・PRを実施するとともに、県が新たに開発した酒米「華錦」使用銘柄のPR活動を実施した(団体への補助)。 (実績)補助実施:2団体	商工観光労働部 観光物産課



50	<b>公営住宅維持補修事業のうち「県営住宅畳替え工事」</b>	416,178の一部
	更新時期に至った畳(畳床及び畳表)の取替えにおいて、県産いぐさ畳表を使用した。 (実績)県営八島団地、県営江津湖団地 住戸数161戸 1,969.5畳	土木部 住宅課
51	<b>公営住宅ストック総合改善事業のうち「住戸改善工事」</b>	293,525
	住戸内のバリアフリー化を行う「住戸改善工事」において、段差解消を行う床の一部を県産木材とした。 (実績)県営西戸島団地:21戸 工事契約済分(H30年度繰越)、県営武蔵ヶ丘団地ほか5団地(H30年度未契約繰越)※震災関連工事の急増に伴う入札不調によるもの	土木部 住宅課
52	<b>患者給食材料の購入</b>	97,612の一部
	給食材料のうち、米、鶏卵については熊本県産品、練り製品、牛乳乳製品、豆腐類、パン類及び醤油・味噌・酒類については、熊本県内製造の食材を使用し、その他の食材についても、可能な限り、熊本県産又は熊本県内製造の食材を使用した。	病院局 総務経営課
53	<b>警察施設維持管理事業</b>	13,340の一部
	県産いぐさ畳による宿舍の畳表替えを実施した。 (実績)畳替え:14戸160畳1半畳	警察本部 会計課

### (3) 経済循環及び地域活性化

農林水産業と商工業、観光産業、学校等多様な産業又は組織との連携等により、県内農林水産物等を活用した加工商品の開発やイベントの開催等を行い、地域経済の活性化を図る。

	事業又は取組名	平成29年度予算額(千円)
	事業又は取組の概要	担当課
54	<b>くまもと6次産業化総合支援強化事業</b>	244,789の一部
	農産加工施設整備や商品開発及び商品力向上支援、販路拡大支援等、6次産業化に取り組む生産者の発展段階に応じた支援を行った。 (実績)熊本6次産業化サポートセンターの設置、加工施設整備支援(国庫:1件(H28年度からの繰越)、単県:11件)	農林水産部 流通アグリビジネス課

	<b>6次産業化商品魅力発信事業</b>	<b>5,500</b>
55	<p>地域に存在する6次産業化商品を磨き上げ、商品を都市圏に向けて情報発信することで販路拡大につなげ、熊本地震からの復興に繋げるためのPR事業を実施した。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くまもと「食」「農」アドバイザー小泉武夫氏を各市町村派遣:2箇所</li> <li>・全国発酵食品サミット・フェアへの参加:1回</li> <li>・イベント「くまもとの赤クリスマス」でのセミナー実施:1回</li> </ul>	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
	<b>くまもと地産地消利活用促進事業のうち「地産地消協力店の指定」</b>	<b>1,462</b>
56	<p>各関係機関を通じたチラシの配布や、イベントへの出展による周知・募集、ラジオ・HPなども活用して応募を推進するとともに、各地域振興局など関係機関の協力も得て未指定店舗への要請、勧誘を行った。</p> <p>(実績)協力店数:679店舗(H30.3時点)</p>	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
	<b>くまもとの未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業のうち「学校給食向け加工品開発・流通モデル実証事業」</b>	<b>4,000</b>
57	<p>学校給食向けの県産小麦100%のパン、県産水産品等を活用した加工品を開発した。</p> <p>(実績)開発数:6品</p>	<p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>
	<b>県産米粉パン地産地消促進事業</b>	<b>40,682</b>
58	<p>県内小中学校等の学校給食における県産米粉パンの普及定着をめざし、毎月第2、3週に利用する米粉パンについて、標準パンとの価格差分を助成した。</p>	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	<b>加工原料米多収化推進事業</b>	<b>9,487</b>
59	<p>自立的な生産体制の確立に向け、地元産焼酎原料米を生産した農家に対し、多収性品種の作付け面積、出来高、多収性品種への転換の取組みに対する助成を行った。また、多収性品種の普及の取組みを支援した。(実績)生産面積:114.4ha、生産数量:578.5t、契約蔵元数:16(うち多収性品種の生産面積:42.3ha、生産数量:221.2t)</p>	<p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p>
	<b>女性農業者等元気づくり事業</b>	<b>3,368</b>
60	<p>地域チャレンジ活動支援として、農業理解活動の支援、商品力の向上や新たな加工品開発の支援、6次産業化に伴う農業経営の高度化支援を実施したほか、農山漁村女性活躍表彰を実施した。</p> <p>(実績)農業理解活動支援:3団体、加工品開発支援:5団体、集落営農組織活動支援:3団体、表彰:1個人・1団体(熊本県賞1個人・1団体)</p>	<p>農林水産部</p> <p>農地・担い手支援課</p>

	<b>ふるさとの食継承・活用推進事業のうち「食の名人」ブランド化事業</b>	284
61	「くまもとふるさと食の名人」のブランドマーク(3区分)について商標登録を行い、ふるさと食のビジネス化への活用を図った。 (実績)ロゴマークの利用申請数:13件	農林水産部 むらづくり課
	<b>公共施設・公共工事における県産木材の利用推進本部会議</b>	(ゼロ予算)
62	県が行う公共施設・公共工事等において、可能な限り県産材の利用推進を図り、関連する取組みを市町村や関係機関、ひいては県民まで波及を図るため、以下の事業に取り組んだ。 (1)公共施設における木材利用の推進 学校施設・社会福祉施設・社会教育施設・運動施設・公営住宅・庁舎等の木造化、県及び市町村施設の内装木質化に向けた普及 (2)公共工事における木材利用の推進 仮設防護柵、型枠、工事看板等での利用 (3)備品や消耗品等における木材利用の推進 間伐材を利用したコピー紙の利用	農林水産部 林業振興課
	<b>資産の有効活用(県有施設における自動販売機設置事業者の選定)</b>	(ゼロ予算)
63	平成29年度は13件の自動販売機設置事業者公募を実施し、全ての募集要項に「地産地消商品を優先的に取り扱うよう努めること」の規定を設け消費拡大を図った。 (実績)規定改正件数:13件	総務部 財産経営課
	<b>地域づくり夢チャレンジ推進事業のうち「交流促進の取組」</b>	180,000の一部
64	市町村や地域住民による地域の食や文化等の資源を活用した取組みに対する補助を行った。 (実績)補助:38件 81,980千円	企画振興部 地域振興課
	<b>地域づくり夢チャレンジ推進事業のうち「コミュニティ・ビジネス起業化の取組」、「地域のしごと(支事)おこしの取組」及び「農業の地域資源(宝)活用の取組」</b>	180,000の一部
65	規格外野菜を使ったドレッシングの開発、鮎料理を提供する食堂の開設、障がい者等による耕作放棄地を活用した大豆の栽培及び加工・販売等の取組みに対する補助を行った。 (実績)7件 11,202千円	企画振興部・健康福祉部・農林水産部 地域振興課・健康福祉政策課・農業技術課
	<b>地域づくり夢チャレンジ推進事業のうち「企業等による地域づくり応援の取組」</b>	180,000の一部
66	市町村や地域住民に対し募集を実施するも、実績なし。	企画振興部 地域振興課

	<b>公益財団法人水俣・芦北地域振興財団地域振興事業</b>	(ゼロ予算)
67	芦北・水俣地区の余剰・未活用食材の利活用をテーマに、大野そばのそば粉を使った「オシャレの粉もんあしきたガレット(そば粉のクレープ)」の商品開発と、食材の生産現場体験イベント(料理教室等)を開催し、郷土の食を通じた産業の創出を図った。	企画振興部 地域振興課
	<b>水俣・芦北地域産業振興と雇用創出事業</b>	55,033の一部
68	地域の事業者の販路拡大を図るための展示商談会出店の支援、みなまた和紅茶サミット開催の支援をはじめとする和紅茶のブランディング支援、マガキ養殖の調査・研修等を行う水産資源のブランディング、地元林産材の活用推進等の取組みを行った。	企画振興部 地域振興課
	<b>自然共生型産業創出支援事業</b>	5,358
69	コーディネーターの配置や専門家の派遣により、バイオ関連企業、食品関連企業等が抱える技術課題や事業化ニーズの把握、商品化に向けたブラッシュアップ等の支援を実施した。 (実績)支援企業実績:41社	商工観光労働部 産業支援課
	<b>「食と健康」産業創出支援事業</b>	2,923
70	付加価値の高い健康志向食品等の販路開拓を支援するため、首都圏で開催された展示会への出展を行った。 (実績)出展:2回	商工観光労働部 産業支援課
	<b>加工技術向上事業及び農商工連携推進事業</b>	635
71	県産農産物を活用した売れる商品づくりを支援するため、商品計画、加工技術、品質管理の向上のための研修指導等を実施した。 (実績)食品加工技術研修会:2回、技術相談及び指導:302回	商工観光労働部 産業技術センター
	<b>農産加工研究開発事業(特別支援事業)</b>	2,220
72	県産農産物および加工食品の安全・安心および品質管理のため殺菌技術に関する研究を行った。また、県産クリに対してプラズマ殺菌処理を実施し、処理後の果実腐敗状況の検証及びカンキツ加工品の加熱殺菌処理を行い、長期保存中の物性変化、衛生指標菌検査を実施した。	商工観光労働部 産業技術センター
	<b>熊本県食料産業クラスター協議会</b>	(ゼロ予算)
73	熊本県食料産業クラスター協議会が開催する食農連携推進企画運営会議及び講演会に参加し、アドバイザーとして支援を行った。 (実績)支援回数:4回	商工観光労働部 産業技術センター
	<b>農商工連携推進事業</b>	(ゼロ予算)
74	熊本県農商工連携推進協議会及び支援等調整部会については、熊本地震の影響等を考慮し、H28～29年度は開催を休止した。 農商工連携による商品開発・販路開拓に取り組む事業者への支援として、地方銀行フードセレクションへの出展を支援した。	商工観光労働部 観光物産課

	<b>プレミアム商品開発支援事業</b>	2,276
75	首都圏で自然食品等を取扱う「(株)こだわりや」と県内事業者が連携して取り組む、新商品開発等への補助を1件実施し、H30年3月に(株)こだわりや37店舗においてくまもとフェアを開催した。 (実績)くまもとフェア参加店舗:37店	商工観光労働部 観光物産課
	<b>新商品等販路開拓マーケティング支援事業のうち「新商品開発・テストマーケティング支援事業」</b>	1,788
76	産業技術センター等が支援する事業者が、農商工連携により開発した新商品を県内外でテストマーケティングする際に要する費用の一部補助を実施した。 (実績)補助:3件	商工観光労働部 観光物産課
	<b>物産展示場運営事業</b>	7,695
77	季節感や地域性を打ち出したフェア、県産品のお中元やお歳暮の販売促進及び展示販売等を実施した。また、県内及び県外の物産展や復興支援イベントに出展し、県産品の展示販売を行った。	商工観光労働部 観光物産課

#### (4) 農林水産業が果たす多面的機能の再認識

農林水産業及び食に関する体験イベント等を通じて、都市住民と農山漁村住民、生産者と消費者の交流活動を促進し、農林水産業が果たしている多面的機能（国土や自然環境の保全、水源の涵養、癒しの場等）への再認識を図る。

番号	事業又は取組名 事業又は取組の概要	平成29年度予算額(千円) 担当課
	<b>くまもと地産地消活用促進事業のうち「くまもと食・農ネットワーク活動への支援」</b>	392
78	8月24日に総会と研修会を開催した。研修会では「熊本地震からの農業の復興」をテーマに、農業者による講演と学生による農業ボランティア活動の発表を行った。 (実績)研修会参加者:87名	農林水産部 流通アグリビジネス課
	<b>地下水と土を育む農業総合推進事業のうち「県民理解の促進・消費拡大推進事業」</b>	15,263の一部
79	地下水と土を育む農業の理解促進のため、地下水と土を育む農畜産物収穫祭を開催し、くまもとグリーン農業表彰や地下水と土を育む農畜産物を用いた料理の提供等を行った。また、小学校3・4年生用に社会科用副読本を作成し県内の小学校へ配布した。 (実績)収穫祭参加者:150名	農林水産部 農業技術課
	<b>地下水と土を育む農業総合推進事業のうち「くまもとグリーン農業推進事業」</b>	15,044の一部
80	くまもとグリーン農業ホームページを活用し、くまもとグリーン農業及び地下水と土を育む認証農畜産物プレゼントキャンペーンを実施した。 (実績)キャンペーン応募総数:2,547件	農林水産部 農業技術課

	<b>都市農村交流対策事業</b>	6,711
81	地元食材等を活用した都市と農村との交流等、農山村の集落維持・再生に貢献できる交流活動を支援した。 (実績)補助:2市	農林水産部 むらづくり課
	<b>中山間地域サポート推進事業のうち「田んぼの学校」</b>	4,000
82	将来を担う子どもたち等を対象とした農業・農地及び土地改良施設の多面的機能に対する理解向上に役立つ交流活動に対し、支援を行った。 (実績)補助:7市町村14団体	農林水産部 むらづくり課
	<b>中山間地域サポート推進事業のうち「棚田ツアー」</b>	3,000
83	都市部の参加者と地元住民の交流を通じて棚田のすばらしさと現状を伝え、県民の棚田保全への理解を深める活動に対し、支援を行った。 (実績)補助:5市町村5団体	農林水産部 むらづくり課
	<b>地域の縁がわづくり推進・支援事業</b>	3,381
84	情報交換会を開催し、地域の食材を活用した配食・会食サービス等に取り組む地域の縁がわの事例を紹介した。 (実績)開催回数1回(参加者172名)	健康福祉部 健康福祉政策課

#### (5) 条例の周知、意識啓発等、条例の直接的な推進に係る取組

番号	事業又は取組名 事業又は取組の概要	平成29年度予算額(千円) 担当課
	<b>くまもと地産地消推進庁内連絡会議</b>	(ゼロ予算)
85	「くまもと地産地消推進庁内連絡会議作業部会」において地産地消推進関係施策について意見交換を実施(4月)するとともに、「くまもと地産地消推進庁内連絡会議」にて県議会報告内容について検討を行った(5月)。また、平成28年度の取組実績、平成29年度の計画について、関係者へ情報提供を行った(7月)。	- 流通アグリビジネス課 (及び連絡会議構成課)
	<b>様々な広報媒体を活用した県民への条例周知</b>	(ゼロ予算)
86	県庁ホームページや県地産地消サイトに条例や地産地消に関する情報を掲載、発信するとともに、様々な広報媒体を活用して県民への条例の周知・浸透と地産地消の意識醸成に取り組んだ。 (実績)県政ラジオ番組での意識啓発:1回、地産地消メールマガジンの発行:毎月2回	農林水産部 流通アグリビジネス課
	<b>イベント等での条例の周知及び情報発信</b>	(ゼロ予算)
87	県内の各種イベント(11月農業フェア、12月田崎市場まつり、3月県立大食育フェア など)に地産地消の条例周知と推進を目的としたブースを出展し、来場者に対して広く情報発信を行った。	農林水産部 流通アグリビジネス課